

# 綾瀬川の水質の変化

# 綾瀬川の水質の変化

## 汚れていた綾瀬川

昭和40年代後半には、人口の増加や工場からの排水により、水面には洗剤の泡やゴミが浮いていました。

都や県は、事業場等の排水基準を厳しくしましたが、水は濁り、周囲にはドブのような臭いがただよっていました。さらに、汚れた川にゴミを捨てる人もいました。



川に流れる大量の洗剤の泡



川に捨てられたゴミ

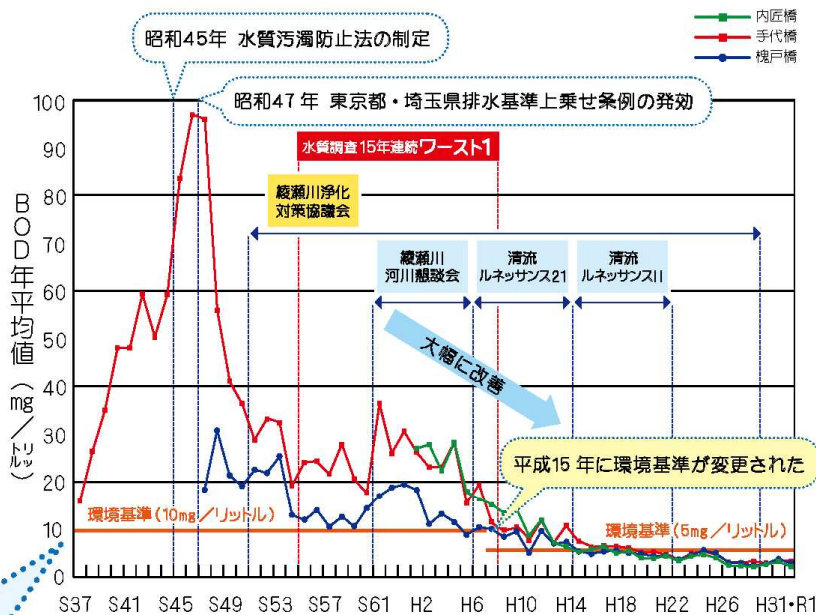
このような結果、魚が棲みにくい川に・・・

## 綾瀬川の水質の変化

昭和46年をピークとした急激な都市化、工業化により水質が悪化しました。

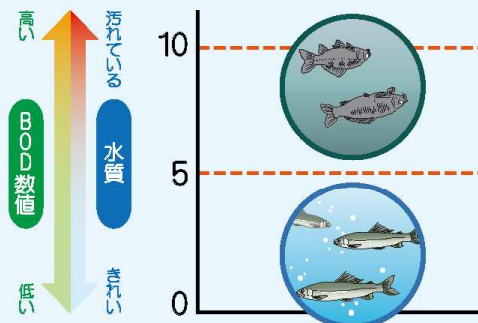
しかし、下水道の普及や住民の方々の努力により、臭いはほとんどなくなり、ゴミの量も減りました。

平成19年度以降は、水質も改善し環境基準をクリアするまでになりました。



## 水質(BOD)と生きものの関係

水質(BOD)とは、川の汚れ具合の目安です。川の水が汚れていると水の中の酸素が少ない状態に。水の中の酸素が少なくなると、魚などの水の生き物は、呼吸しにくくなります。魚たちにとって棲みにくい川になってしまうのです。





# 綾瀬川をきれいにするために

## - Part 1 -

### 綾瀬川清流ルネッサンス 21・ルネッサンスⅡ (平成6年～平成23年)

綾瀬川にきれいな水を取り戻し、たくさんの人が親しめる川になるように、住民のみなさんと国や自治体が一緒になって水質浄化・水辺環境の整備に取り組みました。

#### 国の取り組み

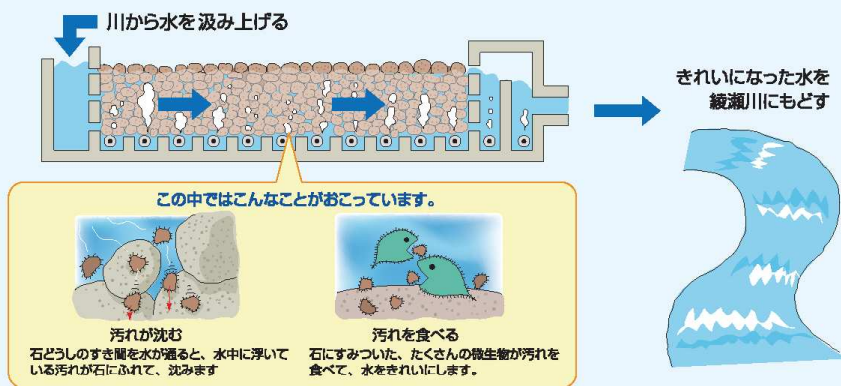
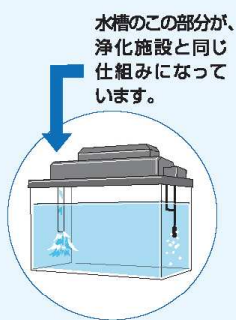


#### 桑袋浄化施設

(平成16年～平成29年)

伝右川から浄化施設に水をくみあげ、石を利用してきれいにした水を、再び綾瀬川に戻していました。もともと川は、汚れをきれいにする力を持っています。しかし、綾瀬川のように川の近くにたくさん人が住む場所では、川に流れ込む汚れが多すぎるため、川のもつ自浄作用だけでは浄化が困難だったからです。

#### 浄化システム



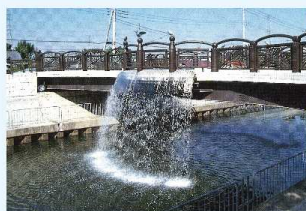
#### 足立区による浄化施設の設置



#### 毛長川浄化施設

(平成7年～平成17年)

区民に呼びかけて、乳酸菌飲料の容器を集め、微生物を増やし、汚れを分解していました。



#### 平成泉橋水処理施設

(平成5年～平成28年)

垢川の水を浄化する施設で、乳酸菌飲料の容器を使った曝気槽(微生物の働きを利用)と活性炭槽を併用していました。



# 綾瀬川をきれいにするために

## - Part 2 -

### 綾瀬川浄化対策協議会 (昭和51~平成29年)

昭和51年4月に、足立区が綾瀬川下流域1区4市の自治体に呼びかけ発足したのが「綾瀬川浄化対策協議会」です。協議会は、国や東京都、埼玉県に綾瀬川の水質改善を働きかけるとともに、流域住民にも河川浄化活動を促しました。



綾瀬川浄化対策協議会の様子

### 住民の皆さんの取り組み

#### 綾瀬川流域クリーン大作戦

(平成元年~)

毎年10月に、自治体と綾瀬川流域の住民が綾瀬川沿いのゴミ拾いをしています。平成16年度には、約6500人が参加し、5600kgのゴミを回収しました。



#### 水環境モニター

(平成16年~)

流域の住民の方々がボランティアで、毎月同じ場所で川の水の透明感、におい、水の色などの見た目や水質の調査をおこない、綾瀬川の状態を継続的に監視しています。



綾瀬川の水質の経年変化については、「綾瀬川の水質の変化」のパネルをご覧ください。

Before



汚れていた川の様子

After



現在の川の様子